

質問要旨 全世代対象の活動への助成金の制度があれば活動資金の問題解決の1つになると考えるが、
尼崎市としてはその提案についてどう思うか。

答弁要旨

地域活動の取組には、事業実施に必要な経費など、一定の資金が必要であるという点については、認識しております。

そのため、各地域課においては、様々な活動助成金の情報提供など、活動資金の確保に向けた支援のほか、多様な主体が連携していくため、活動団体同士の顔の見える関係づくりのきっかけとなる場づくりにも取り組むなど、資金の確保のみならず活動団体同士が協力し合い、地域課題の解決に向け地域活動に取り組んでいけるよう、支援を行っているところです。

市としましては、現在、福祉協会の活動を側面的に支援するため、全世代対象の活動に活用いただける補助金を交付しているところでもあり、自治のまちづくり推進に向け、地域発意の自主的な活動が広がっていくよう、今後も支援をしてまいります。

以上

質問要旨 福社会館の維持管理経費とメンテナンス費を
助成し、地域の活動拠点として維持していくべきでは。

答弁要旨

市としても、自治のまちづくりを推進していく上で、地域コミュニティの活性化のためには、子どもから高齢者まで、多様な世代が集える身近な地域活動・交流の「場」は必要であると考えております。

そうした「場」のうち、市所有の福社会館に係る建物の主要構造部の修繕については市が行っておりますが、維持管理経費や経年劣化による修繕費については、市所有の福社会館や地域所有の会館ともに、地域の皆様方の自主的な運営のもとで、管理されているところでございます。

地域における、こうした自主的な運営を続けていくためには、独自に収入を得るなどの必要性があることは認識しておりますが、市としては、現在の財政状況のもとで、個別の施設維持管理に対する助成は考えておりません。

(次ページへつづく)

自治のまちづくりを進める上で、地域担当職員等が地域において顔の見える関係づくりを行う中で、地域それぞれの現状を把握し、必要に応じて他の助成制度のご案内、利用率向上に向けた貸し室の広報や貸室条件の緩和など、自主財源の確保に向けた支援を行って

参りませう。

以上

質問要旨 市にとって加入率の下がってきている「福祉協会」は必要であるのかどうか。

答弁要旨

本市の社会福祉協議会は、歴史的な経緯もあり、地域福祉だけでなく地域自治との両面において中核的な役割を担い、市民生活やまちづくりの全般にわたって地域コミュニティを共に支える協働のパートナーであると認識しております。

その構成組織である「福祉協会」につきましても、自治のまちづくりを進める上で、加入率が低下傾向にあるものの、地域を支える主要な組織であると認識しており、今後とも地域コミュニティの醸成を共に図っていくパートナーであると考えております。

以上

(東教育次長答弁)

松岡議員 1004・1005 作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 ①子ども見守り隊の活動把握はしているか。
また、していないのであればその理由は何か。②市として活動保険に加入するなどサポートするべきでないか。

答弁要旨

地域の皆さまによる見守り活動につきましては、児童に対する大きな事故や事件、犯罪の被害の抑止につながっているものと考えております。

子ども見守り隊の活動状況に関しましては、毎年4月現在の活動人数を各小学校に照会し、兵庫県にも提出しているところです。具体的な活動内容につきましては、「校門での見守り」や「交通安全旗を持ち、交通量の多い交差点での見守り」など、各校の実態にあった取組をいただいていると認識しております。これらの活動は、地域の皆さまにより主体的に行っていただいているもので、必要に応じ各校に調査を行って活動実態の把握に努めているところでございます。

(次ページへ続く)

また、活動保険に関しましては、地域の皆様のご厚意によるものであることから、独自の制度化や公費負担による加入はしておりません。

しかしながら、子どもの登下校における安心安全に寄与していただいていること、子どもたちが地域で見守られていることを肌で感じることができ、安心感を与えてくださっているといたった点で、教育委員会といたしましても、大いに感謝しているところでございます。

今後とも、無理のない範囲で子どもたちのためにご協力いただければと考えております。

以上

質問要旨 備蓄品が配置されていない小学校にはどのように配布するのか。今後、全校に配置するべきと考えるかどうか。

答弁要旨

備蓄品の配備につきましては、1 か所に集中配備した場合のリスク回避の観点と、可能な限り避難場所に近い場所に配備することにより発災直後の避難者への速やかな物資の提供や運搬対応の軽減を図るため、現在、市内の小学校 12 か所を含む 19 か所に分散備蓄を行っております。

災害時の備蓄品の輸送につきましては、健康福祉局、総合政策局等担当部署が、備蓄品の集積場所から各地区の避難場所へ輸送することとしております。

議員ご質問の備蓄品の小学校への配備につきましては、余裕教室を活用し、平成 10 年度に 6 か所で開始し、平成 30 年度に 12 か所に拡大してきたところです。

今後も、災害時の備蓄品配布を効率的に行うことを目的とし、分散備蓄を進めてまいりたいと考えております。

以上

質問要旨 各小学校の体育館に空調設備を早急に設置する必要があると考えるがどうか。

答弁要旨

近年、日本の6月～8月の平均気温は、様々な変動を繰り返しながら上昇しており、夏場における避難者の健康維持のため、避難所の暑さ対策が重要であると認識しております。

こうしたことから、議員ご指摘のとおり、昨年度は避難所における暑さ対策及び感染症対策ために、スポットクーラー及び大型送風機を市内各小学校に配備したところです。

なお、避難所開設の長期化等により、空調管理のための備品に不足が生じる場合には、冷凍空調設備事業者と締結した「災害時における空調設備の供給等の業務に関する協定」により、スポットクーラーや大型扇風機等を追加で供給し、対応することとしております。

また、現在、備蓄計画の見直しを行っているところであり、経口補水液や瞬間冷却パックなど熱中症対策にかかる備蓄品目についても検討してまいりたいと考えております。

(以上)

(医務監答弁)

松岡議員 2001 作成部局 健康福祉局 No.1

質問要旨 負傷動物に対する応急処置の治療費を増額
すべきと考えるがどうか。

答弁要旨

負傷動物の治療^{事業}は、市民等により発見され、負傷動物救急指定病院に搬入された負傷動物に対して治療を行う事業です。

治療内容は、動物愛護センターへの収容に向け、あくまでも応急処置に止まるものであり、完治を目的としたものではないため、費用の増額については考えておりません。

なお、費用につきましては近隣他都市においても、同様の水準となっております。

以上

(医務監答弁)

松岡議員 2002 作成部局 健康福祉局 No.1

質問要旨 動物愛護センターの職員を増員し、常時 8 名
体制にする必要があると考えるがいかがか。

答弁要旨

動物愛護センターの猫の収容頭数は、施設改修後、現在の15匹から30匹に増加する予定であり、飼育員につきましては2名程度の増員が必要であると考えております。

一方で今回の施設改修は、譲渡を推進し、殺処分を減少に繋げていくことを目的の一つとしていることから、日々の健康管理や治療に携わる、獣医師の増員も視野に入れながら、施設改修後の人員体制を検討する必要があると考えております。

以上

質問要旨 SGレース獲得には市長によるトップセールスが必要と思うがどうか。また、市長によるトップセールス以外の戦略は。

答弁要旨

SGレースはファン待望のレースであり、その開催は売上向上にも非常に重要であると認識しております。SGレース誘致のためには、業界中央団体との信頼関係構築が必要不可欠であり、そのためには議員ご指摘の市長のトップセールスはもちろんのこと、ボートレースパーク化のような業界全体の方向性に沿った取組の推進に加え、快適で魅力ある施設の整備やファンサービスの充実も大変重要であると考えております。

来年度は、7月に SG オーシャンカップを誘致することができましたが、令和5年度以降も SG レースの誘致に尽力することにより、本市財政にも貢献してまいります。

以上

質問要旨 お客様に気持ちよく過ごしていただくためには、さらなる施設整備が必要ではないか。

答弁要旨

ボートレース尼崎では現在、「新しいファン層を誘引できる魅力ある快適な施設環境の確保」、「来場者数に見合った施設へのコンパクト化」、「周辺地域への貢献」をコンセプトに、大規模な施設改修に取り組んでおり、今年度末に完成する予定でございます。

さらに、大規模施設改修事業の終了後におきましても、快適に過ごしていただける場内環境の整備を継続して実施していくとともに、ファミリー層や若者など新たな客層を取り込むための魅力的な施設整備にも^{引き続き}取り組んでまいりたいと考えております。

以上

質問要旨 非開催日の施設の有効利用についてスポーツやコンサート等のライブビューイングなど、場として具体的な考えはあるか。

答弁要旨

ボートレース尼崎では、地域に親しまれるボートレース場を目指してボートレースパーク化の取組を進めております。令和4年4月に場内にオープン予定の子ども向け遊具施設は、レース開催日186日に、夏休み期間などの非開催日も加えて、年間250日程度の運営を予定しており、地域のランドマークとなるような施設を目指してまいります。

また、ボートレースファン以外の方からも利用され、賑わうような施設となるよう、議員ご提案のスポーツ等のライブビューイング等も含め、幅広くソフト・ハード両面の充実に向け方策を検討してまいりたいと考えております。

以上